

第46回九州高校放送コンテスト熊本県大会実施要項

1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて熊本県内における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にす心情を育て、あわせて、話す力・表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学校生活の中におけるおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としてのあり方・生き方を学ぶとともに、放送の果たす役割を考える。
- (5) 熊本県内における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3 主催

九州高等学校文化連盟 熊本県高等学校文化連盟放送専門部

4 参加資格

- (1) 令和6年12月現在、熊本県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし、高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
- (2) アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。1校からの参加人数の制限はない。
- (3) 他のコンテストに出品した作品は、本大会に参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することは認めない。

5 参加料 無料

6 日時（予定）*エントリー数によって、時間が前後する場合がある。

令和6年11月10日（日）

開会式、諸連絡 9:00~9:10

アナウンス部門・朗読部門予選 9:20~11:30 / ラジオ番組部門審査 9:20~11:30

アナウンス・朗読部門決勝 12:40~15:40 / テレビ番組部門審査 12:40~14:40

番組部門講評 15:30~

閉会式 16:00~16:50

(アナ・朗講評・成績発表・表彰・模範演説・模範作品発表)

*九州大会出場校説明会 17:00~17:20

7 会場 熊本市立必由館高等学校 *受付は体育館で行います。

〒860-0863 熊本市中央区坪井4丁目15番1号 (地点：南千反畑)

必由館高校までのアクセス

熊本電鉄バス 系統(C1、C3)「市立必由館高校前」下車 徒歩約5分。

受付場所は体育館です。正門を入れて正面に進んでください。

8 各部門の課題・参加規定

全部門、以下に示した提出物等の規定・様式に関しては、福岡県高文連ホームページ「第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会放送」<https://fukuoka-koubunren.jp/bunkasai/housou>からダウンロードして用いること。

(1) アナウンス部門

- ①自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ②エントリー番号・発表者の氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。
*学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名を読む。
- ③提出原稿は、規定1（様式1-1、様式1-2）より原稿用紙をダウンロードして使用する。
1ページを表紙として、本文は第2ページ以降に記入する。袋とじ（仕上がりA5判）とし、原稿は3部（コピー可）提出する。（○印の塗りつぶしは不要）
- ④各校のエントリー人数には制限を設けない。
- ⑤熊本県大会の決勝進出者は30名とする。ただし、予選出場者が60名未満の場合は、出場者の5割程度を決勝進出者とする。
- ⑥審査基準
 - (a)校内放送に使用できる内容であること。
 - (b)審査の視点
 - i. 内容
 - (イ)素材の選び方は適当であるか。 (イ)文章表現は適当であるか。
 - ii. アナウンスの技術
 - (ア)自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
 - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
 - ・歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。
 - (イ)意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。
 - ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション
 - (ウ)間（ポーズ）は適切か。
 - ・テンポ ・ポーズ
 - (c)採点 …… 100点法で総合的に採点する。
- ⑦九州大会の熊本県代表の推薦数は、8名とする

(2) 朗読部門

- ①次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	或る「小倉日記」伝	読書の森で寝転んで	コンビニ兄弟	車輪の下
著者名 (訳者名)	松本 清張	葉室 麟	町田 そのこ	ヘルマン・ヘッセ (実吉 捷郎)
出版社	新潮文庫	文春文庫	新潮文庫	岩波文庫

- ②エントリー番号・発表者の氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。
*学校名は読まず、エントリー番号に続けて、氏名・作者名・作品名を読む。
*抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「変更したもの」とみなす。
*本文中の（ ）内も読むこと。（読み仮名、注釈は除く）
*作品番号1については、作品名として選んだ短編名を読む。
*作品番号3については、続編の『コンビニ兄弟2』『コンビニ兄弟3』は含まない。
*作品番号4の著者名は、「ヘルマン ヘッセ」と読むこと。（訳者名は読まない）
- ③～⑤（アナウンス部門の③～⑤に同じ）
- ⑥審査基準

(a) 審査の視点

i. 内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。 (イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

ii. 朗読の技術

(ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。

- ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
- ・演劇調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。

- ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

- ・テンポ ・ポーズ

(b) 採点 …… 100 点法で総合的に採点する。

⑦九州大会の熊本県代表の推薦数は、8名とする

(3) ラジオ番組部門

①作品は、6分30秒以上、7分以内とする。

②作品の最後に「制作は〇〇高校放送部（委員会）でした」とクレジットコールを入れる。

③クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声が重なってはいけない。

④作品の前後に2秒のブランクを入れる。

⑤計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。

⑥作品は、規定4（様式4）の静止画様式に「学校名」「作品名」を入れた動画 mp4 形式とする。ファイル名は「ラジオ（学校名）.mp4」。

⑦作品データは、指定された Google Drive に提出する。それが困難な場合は、ディスクにデータを保存して郵送または持参する。トラックは1つのみ。クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。

⑧作品データは返却しない。

(4) テレビ番組部門

①作品は、7分30秒以上、8分以内とする。

②アスペクト比は、16：9（ワイド）とする。

③テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。

④作品の前後5秒間に、規定2（様式2）テストパターン／カラーバーを入れる。

⑤計時は、テストパターン／カラーバーを除いた本編部分について行う。

⑥作品は、Mpeg-4/H.264 AVC のデータ形式とする。なお、解像度は1080Pまで、作品データの容量は最大1GB程度とする。ファイル名は「テレビ（学校名）.mp4」クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。

⑦作品データは、指定された Google Drive に提出する。それが困難な場合は、ディスクにデータを保存して郵送または持参する。トラックは1つのみ。クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。

⑧作品データは返却しない。

(5) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

①高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ前述の「4 参加資格」の条件をすべて満たす者のみに限る。

②審査基準（九州大会要項案より抜粋）

(a) 校内放送に使用できる内容であること。

(b) 審査の視点

i. テーマ (伝えたい内容)

高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。

ii. 制作技術

(ア) メディアの選択 (イ) 制作方法 (ウ) 取材の方法や努力 (エ) 企画・構成

(オ) 演出・編集 (カ) 音声や効果音の使い方 (キ) 内容伝達力 (ク) 番組進行表の作成

(c) 採点 …… 100 点法で総合的に採点する。

③ 作品のタイトルは、副題も含めて 15 文字以内を厳守する。

※ 作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大 30 文字 (スペース含む) までとする。

④ 学校ごとに指定された作品データ提出用 Google Drive にアップロードする。(番組部門にエントリーした学校の顧問に、10 月末日までにメールでリンクを通知する。)

⑤ ディスクで提出する場合は、以下の項目を、ケース表にはラベル(本大会要項最終ページ)を添付し、ディスク本体には直接印字か手書きをする。

(ア) 部門名 (イ) 学校名 (ウ) 作品名 (エ) メディアの種類

⑥ 番組進行表等は、規定 3 (様式 3-1~様式 3-5) を用いて **1 部提出** する。A4 サイズで片面に印刷し (両面印刷不可) 左上 1 か所をホチキスでとじる。(データでの提出は不要)

1 頁 (様式 3-1) … 学校名・作品名・時間・制作意図 (200 字程度)

スタッフ/キャスト (学年)

2 頁 (様式 3-2) … 必要枚数を綴じ合わせた CUE シート

3 頁 (様式 3-3) … 使用著作物一覧

※ 必要に応じて、音源使用許諾 (様式 3-4) ・取材・著作物提供許諾 (様式 3-5) を添付する。

⑦ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権処理を確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。

⑧ 著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、NHK 杯番組部門制作関連資料で定めたものと同じとする。

⑨ 著作物使用などの許諾に関する詳細については、NHK 杯要項「校内放送研究 No. 191」

(https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/pdf/71_youkou2.pdf) 17 ページ及び「番組部門制作関連資料」 (https://hosokyoiku.jp/ncon_h/info/pdf/71_siryuu.pdf) の注意事項に準じる。

⑩ JASRAC への手続きと支払いは各校で行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する。

⑪ 参加作品の著作権は、制作者 (応募した学校) に帰属する。

⑫ 規定・様式等については、福岡県高文連ホームページ「第 8 回全九州高等学校総合文化祭福岡大会放送」<https://fukuoka-koubunren.jp/bunkasai/housou> からダウンロードして使用すること。

⑬ 番組進行表は大会終了後に返却する。

⑭ 九州大会の熊本県代表の推薦数は、ラジオ番組部門・テレビ番組部門各 5 作品以内とする。

9 その他の注意事項

(1) 各規定や注意に反したもの、および時間の過不足は失格とし、審査の対象から外す。

(2) 番組各部門の制作にあたっては必要に応じて著作権処理を行い、番組進行表末尾に許諾書・明細書のコピーを貼付した上で作品を提出すること。(提出時までには著作権処理を完了していない作品は失格とする。) 著作権関係の用紙は、日本音楽著作権協会のホームページからダウンロードしたものを使用すること。

(4) レコード会社によっては許諾に関する事務処理が遅いこともあるが、そのことを理由に作品の提出及び著作権手続きの期限を遅らせることは認めない。

10 参加申し込みについて

提出物および提出期限

■提出期限① 10月16日（水）17：00まで

参加各校は、本要項とともに送信したエントリーシート（excelシート）に必要事項を入力し、熊本県高文連放送専門部事務局（tt03-kbc@g.bears.ed.jp）へメール添付ファイルで提出する。

※アナウンス・朗読部門は出場生徒名・学年を（朗読部門の課題作品番号入力は不要）番組部門についてはエントリーの有無を入力する。

※ファイル名：「【〇〇高校】エントリー_46_九コン県大会」

※アナウンス・朗読部門にエントリーした学校には、出場者のエントリー番号を、番組部門にエントリーした学校には、作品データアップロード用 Google Drive のリンクを10月末日までに事務局から顧問にメールにて通知する。

■提出期限② 11月6日（水）17：00まで

参加各校は、全部門作品提出シート（excelシート）を事務局へメール添付ファイルで提出するとともに、用紙に印刷し、原稿・番組進行表等を郵送または持参する際に一緒に提出する。

※エントリーする全部門について入力する。アナウンス・朗読は発番されたエントリー番号、朗読は課題作品番号も、番組は代表生徒名、タイトル、タイムを記入する。

※ファイル名：「【〇〇高校】全部門_46_九コン県大会」

アナウンス部門・朗読部門の参加校は、以下のものを取りまとめて事務局へ提出する。

○原稿（1人3部：コピー可）（郵送必着または持参）

番組部門の参加校は、以下のものを取りまとめて事務局へ提出（郵送または持参）する。

○ラジオ番組部門・テレビ番組部門作品データの Google Drive へのアップロードする
または、ディスクを郵送（必着）または持参する

○番組進行表（A4サイズに印刷したもの）1部を郵送（必着）または持参する

※データでの提出は不要

提出先	〒860-0863 熊本市中央区坪井4丁目15番1号 熊本市立必由館高等学校 熊本県高文連放送専門部事務局 花川 貴三子 宛て TEL 096-343-0236 E-mail: tt03-kbc@g.bears.ed.jp
提出期限	<p>■提出① 令和6年10月16日（水）午後5時 ○<u>エントリーシート</u>（excelシート）をメール添付ファイルで提出</p> <p>■提出② 令和6年11月6日（水）午後5時 ○<u>全部門作品提出シート</u>（excelシート）をメール添付ファイルで提出 加えて、用紙に印刷したものを原稿・番組進行表とともに提出 ○アナウンス部門・朗読部門 <u>原稿（1人3部コピー可）郵送（必着）または持参</u> ○ラジオ番組部門・テレビ番組部門 <u>番組進行表郵送（必着）または持参、</u> <u>作品データアップロードまたはディスクの郵送（必着）または持参</u> （※早朝、または提出期限前日までの午後5時以降に持参する場合は、事前に事務局に電話かメールで連絡し、必由館高校正面玄関の郵便ポストに投函すること。</p>

1.1 顧問の先生方へ

- (1) 今後の大会・校内放送合同講習会などに関する連絡等は、下記のホームページに掲載します。

熊本県高文連放送専門部HP <https://ws.higo.ed.jp/hshousou/>

- (2) 12月13日（金）～15日（日）の3日間、「福岡工業大学FITホール（福岡市東区）」を会場に、「第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会放送部門 第46回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動集会大分大会（以下、九州大会）」が開催されます。熊本県大会のアナウンス部門・朗読部門上位各8名、ラジオ番組部門・テレビ番組部門各5校が九州大会に出場することができます。また、九州大会で好成績を収めた出場者は、来年度の全国高等学校総合文化祭香川大会の代表に選出されます。（各校1人または1作品のみの出場）また、アナウンス部門・朗読部門上位入賞者の中から数名、令和7年度熊本県高等学校総合文化祭の総合司会に推薦されます。
- (3) 11月21日（木）午後に九州大会アナウンス・朗読部門出場者を対象にした専門職講師による講習会を実施する予定です。詳細は、該当校に改めて連絡します。

1.2 その他

- (1) 会場内へは、出場校放送部生徒および引率職員のみ入場可能です。一般公開はありません。
- (2) 各自で上履きの準備をお願いします。
- (3) ゴミは全て持ち帰るようにお願いします。

再確認！

Q.1：提出期限が17時までですが、少し遅れてもいいですか？

Q.2：レコード会社がいつまでも曲の使用を許諾してくれないのですが、あとからでもいいですか？

Q.3：提出した原稿や番組進行表に間違いがありました。提出期限後に差し替えることができますか？



すべて「NO」とします。

A.1：提出期限に間に合わないものはすべて失格です。

A.2：許諾が得られた曲、あるいは著作権フリーの曲を使用して期限までに提出しなければ失格です。

A.3：差し替えることはできません。原稿等の誤記、誤読（アナ朗）は審査の重要ポイントの1つです。原稿等を提出するときからコンテストは始まっています。事前に十分確認してから提出してください。

○遅延・内容等の誤り・著作権侵害は許されません。

○ルールを厳守しなければ、公平・公正な審査はできません。

○ルールを守らないことにより、エントリー作業に支障が生じ、ひいては他の参加者の迷惑になります。

放送人としての十分な自覚を！

九州高校放送コンテスト熊本県大会用 参加ラベル

※作品をディスクで提出する場合のみ使用してください。

- 1 適切な大きさにコピーして、外枠に沿って切り取ってください。
- 2 CD-RやDVD-Rのケースに貼付してください。

ラジオ番組部門・テレビ番組部門CD-R・DVD-Rのケース用

テレビ番組 部門	
立	高校
作品名	

ラジオ番組 部門	
立	高校
作品名	

テレビ番組 部門	
立	高校
作品名	

ラジオ番組 部門	
立	高校
作品名	